

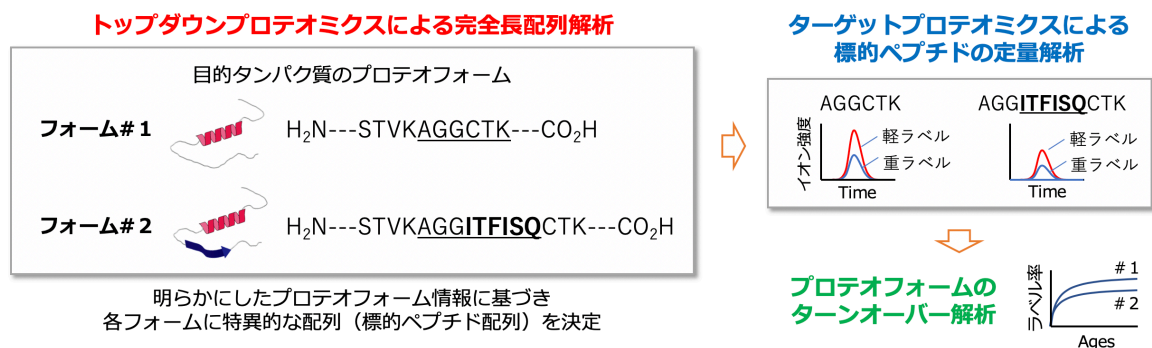
研究タイトル：分子夾雑環境におけるプロテオフォーム動態のトップダウンプロテオミクス解析

所属・氏名等：愛媛大学 先端研究・学術推進機構 講師 武森信暁

専門領域：プロテオミクス、質量分析

ホームページのアドレス：<https://www.proteomicslaboratory.com>

研究紹介：プロテオミクス研究のフロンティアとして、動物個体におけるタンパク質成分の動的平衡状態(プロテオスタシス)を定量的に解明する試みが注目されている。生体内の分子夾雑環境において、タンパク質は合成と分解の動的平衡によって維持されており、プロテオームの恒常性を系統的に解明することは老化や疾患をタンパク質レベルで理解する上で重要な課題である。本研究では、安定同位体で標識されたモデル動物を対象に、包括的プロテオフォーム解析を可能にする次世代プロテオーム解析技術「トップダウン・プロテオミクス」を駆使して、分子夾雑環境におけるプロテオフォームの恒常性を理解するための新規計測手法を開発する。



論文業績：

A. Takemori, T. Nakashima, H. Ômura, Y. Tanaka, K. Nakata, H. Nonami, N. Takemori, *Plant Methods*, **2019**, 15, 40.

N. Takemori, A. Takemori, Y. Tanaka, Y. Endo, J.L. Hurst, G. Gómez-Baena, V.M. Harman, R.J. Beynon, *Molecular Cellular Proteomics*, **2017**, 16, 2169-2183. (Cover Article)

N. Takemori, A. Takemori, P. Wongkongkathep, M. Nshanian, R.R.O. Loo, F. Lermyte, J.A. Loo, *Analytical Chemistry*, **2017**, 89, 8244-8250.